

4 刈谷市総合運動公園の概要と将来構想

1) 公園の特色

刈谷市総合運動公園は、JR刈谷駅から北へ約3kmの築地町に位置し、国道23号知立バイパス等に接する大変交通の便の良いところであり、平成6年に開催された第49回国民体育大会の「少年男子サッカー」のメイン会場として、多くの友情と感動のドラマが展開されました。

樹木に囲まれた広い芝生広場では、大型複合遊具（レインボーマウンテン）も整備され、親子連れのなごやかな光景も多く見られます。また、隣接する逢妻川緑地、桜づつみも一体的に整備がされており、四季を通じ、市民の健康増進と憩いの場として親しまれています。



刈谷市総合運動公園（開設年度：平成6年）



2) 公園の良いところ・惜しいところ

第2回市民公園づくり会議では、刈谷市総合運動公園の良いところ・惜しいところについて、グループで意見を出し合いました。



公園の良いところ

◆主な意見

●自然

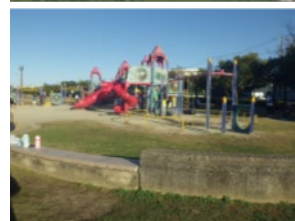
- ・逢妻川と隣接しており、桜やツツジの花が咲く
- ・自然が楽しめる など

●施設

- ・スポーツ施設が充実
- ・サッカーを見学できる
- ・アスリートと同じ場所が利用できる
- ・会議室が充実 など

●その他

- ・ウォーキング、ランニング多目的エリア世代別コースがある
- ・アスレチック広場があり子どもの遊具が充実
- ・駐車場が広くアクセス良い、公共バスで行ける
- ・イベントが多く、花火大会もある など



公園の惜しいところ

◆主な意見

●施設

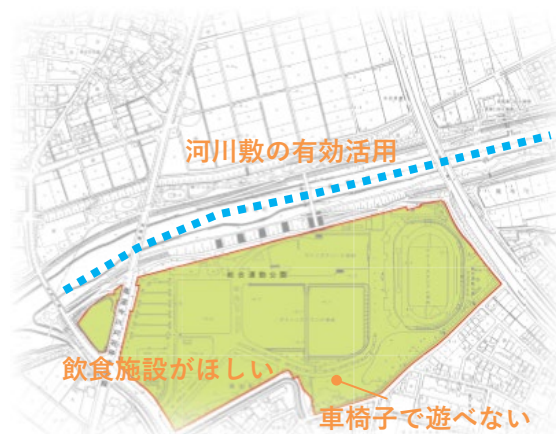
- ・気軽にスポーツができない
- ・日よけ雨除け等の屋根がない
- ・レストラン・売店がほしい
- ・トイレが和式
- ・遊具のそばにベンチがない
- ・水を使った遊び場がない
- ・室内で子供が遊べるところがない
- ・通路の照明が暗い箇所がある
- ・車椅子で遊べる遊具がない など

●その他

- ・年配の方がくつろげる場所がない
- ・イベントによっては大渋滞がおこる など

●池

- ・河川と一体化した公園づくり
- ・河川敷の有効活用 など



3) 将来構想図

刈谷市総合運動公園 将来構想



公園の将来像

だれでも・いつでも・どこでも・いつまでも Sports in Life

公園の未来

- 1) 多様な人が、いつでも手軽に体を動かせる公園機能が充実しています。
- 2) 逢妻川緑地ではレクリエーション活動が楽しめ、公園北側ではニュースポーツなどが体験できます。
- 3) 民間との連携により、朝から夜まで楽しめるスポーツライフを応援します。

リバーサイド・エリア

逢妻川緑地に活動拠点を配置し、水辺空間をいかしたレクリエーション活動が楽しめるエリアです。

【イメージ】 リバーサイドステーション（活動拠点+カフェ）/ライドアクティビティ/サイクリング/ウォーキング/BBQ など

エントランス・エリア

公園のエントランスに、気軽に立ち寄れる飲食施設などを配置し、スポーツの魅力を発信するエリアです。

【イメージ】 エントランスガーデン/レストラン・カフェ（飲食施設）/売店（コンビニ+スポーツ用品） など

+ (プラス) スポーツ・エリア

要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを気軽に体験できるエリアです。

【イメージ】 ニュースポーツ/テニス/ソフトボール兼少年野球/センター施設（更衣室、スポーツ用品レンタル） など
※多目的グラウンド：ソフト・野球(少年)・テニスなど

アリーナ・スタジアム・エリア

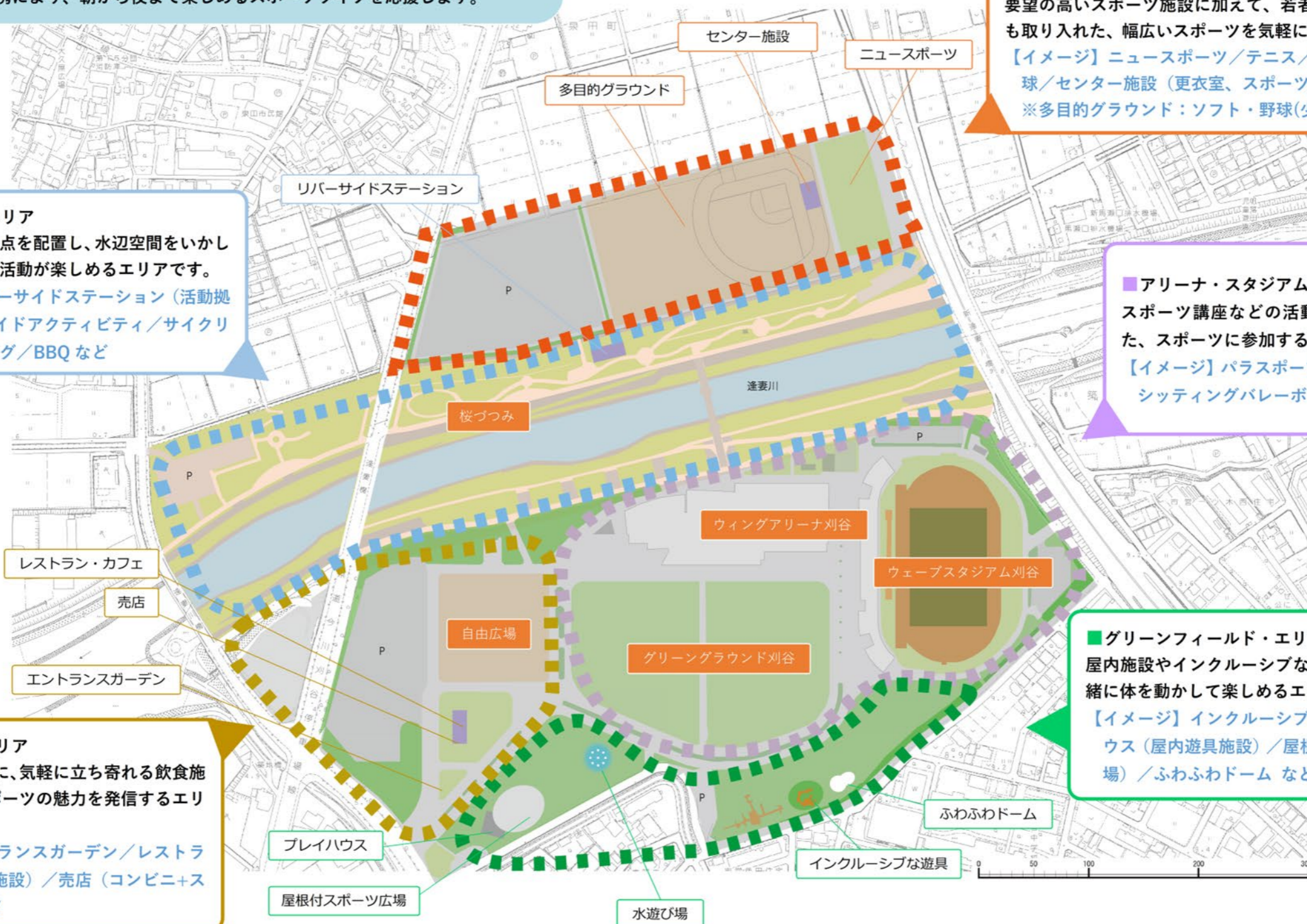
スポーツ講座などの活動プログラムを更に充実させた、スポーツに参加する機会が得られるエリアです。

【イメージ】 バラスポーツ（ポッチャ・ゴールボール・シッティングバレーボール）/e-スポーツ など

グリーンフィールド・エリア

屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、だれでも一緒に体を動かして楽しめるエリアです。

【イメージ】 インクルーシブな遊具/水遊び場/プレイハウス（屋内遊具施設）/屋根付スポーツ広場（イベント広場）/ふわふわドーム など



4) 利活用イメージ

+ (プラス) スポーツ・エリア

要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを気軽に体験できるエリアです。



【利活用イメージ】

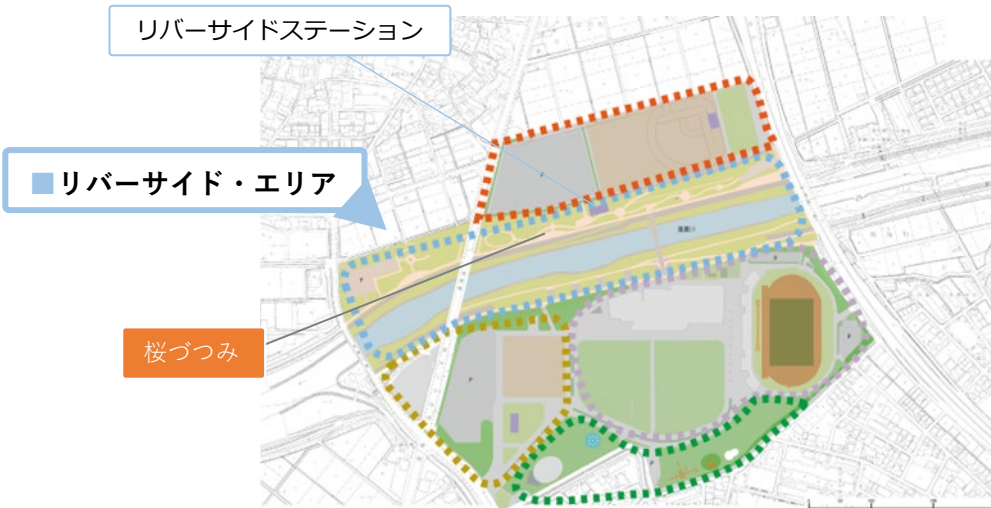
- 未来のアスリートを目指して、子どもたちがスケートボードやボルダリングなどのニュースポーツをしています。
- だれもが一緒にスポーツを楽しんでいます。
- 更衣室やシャワー室、スポーツ用品のレンタルなどを備えた施設があり、だれもが気軽に利用しています。



(イメージ)

リバーサイド・エリア

逢妻川緑地に活動拠点を配置し、水辺空間をいかしたレクリエーション活動が楽しめるエリアです。



【利活用イメージ】

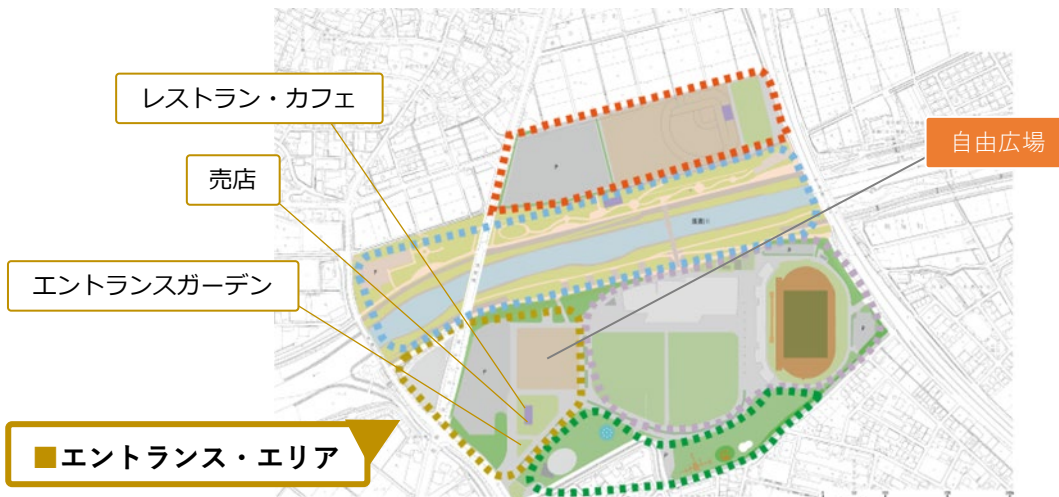
- 逢妻川を散歩する人、犬の散歩をする人、ジョギングする人がおり、リバーサイドステーションで豊かな眺めを楽しみながら休憩しています。
- 逢妻川では水遊び、河川敷ではサイクリングやライドアクティビティ（バギーなど）を楽しんでいます。
- だれもが一緒に BBQ で仲間と盛り上がっています。



(イメージ)

エントランス・エリア

公園のエントランスに、気軽に立ち寄れる飲食施設などを配置し、スポーツの魅力を発信するエリアです。



【利活用イメージ】

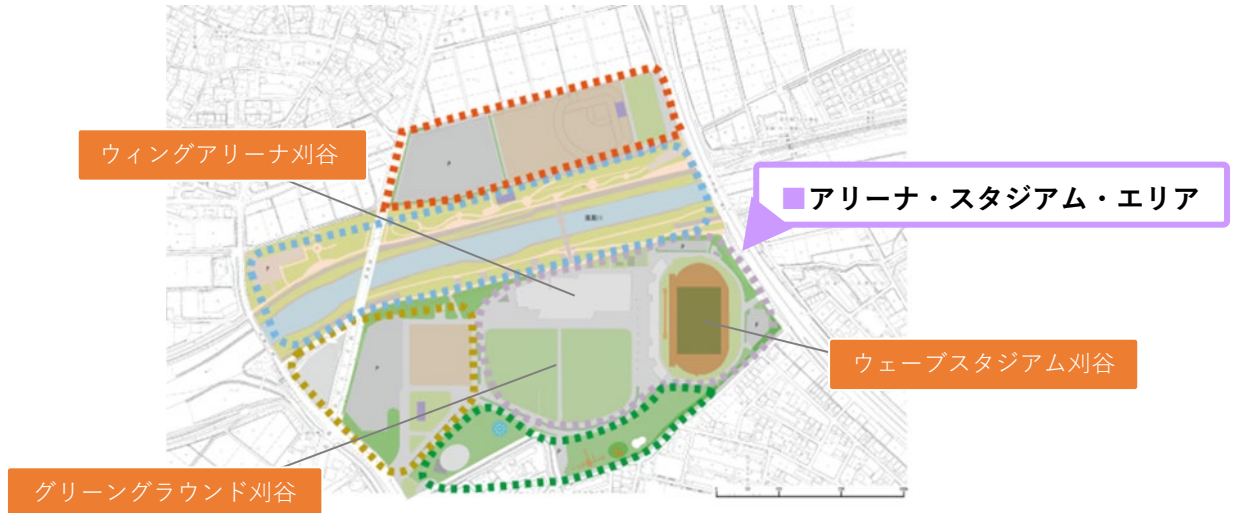
- 美しいエントランスガーデンがあり、四季の花が咲いています。
- 公園駐車場に隣接して、レストランやカフェがあり、いつでも気軽に立ち寄れます。ホームチームのグッズやスポーツ用品のレンタルなどもあり、いつでも賑わっています。
- 広場でイベントが開催され、多くの人で賑わっています。



(イメージ)

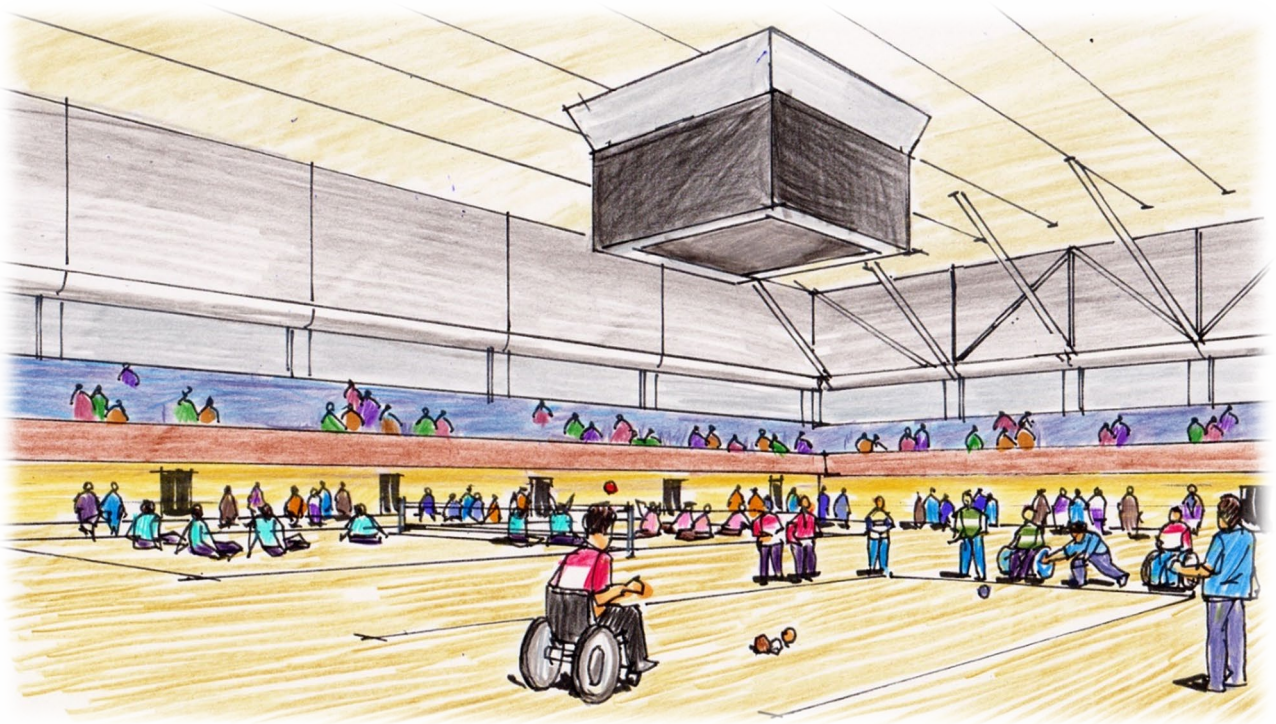
アリーナ・スタジアム・エリア

スポーツ講座などの活動プログラムを更に充実させた、スポーツに参加する機会が得られるエリアです。



【利活用イメージ】

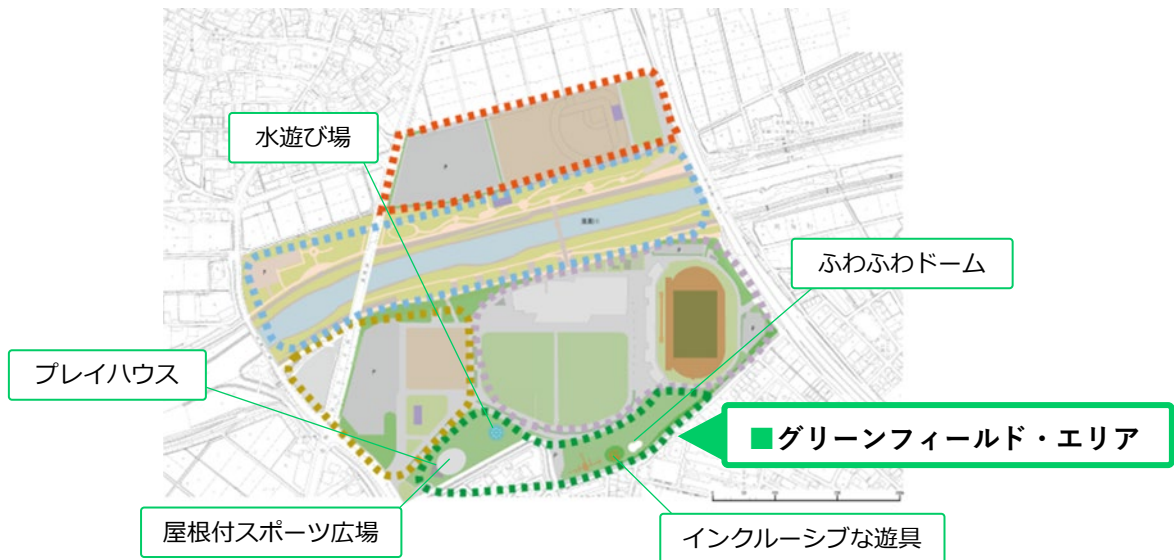
- だれもが一緒にスポーツを楽しんでいます。
- ホームタウンパートナーチームと市民が触れ合っています。
- 多世代に渡ってスポーツをしています。
- 国内トップクラスのスポーツを観戦しています。



(イメージ)

グリーンフィールド・エリア

屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、だれでも一緒に体を動かして楽しめるエリアです。



【利活用イメージ】

- 車いすの子どもや運動が苦手な子どもも、だれもが一緒に元気に遊んでいます。
- 雨の日や、暑い日でも子どもたちが屋内施設で安心して遊んでいます。
- 駐車場などからアクセスがしやすくなり、だれもが快適に利用しています。
- 広場では、特色のある遊具やそれぞれの楽しみ方でのびのびと遊んでいます。



(イメージ)